

太田博之マニフェストNEXT2020 自己評価表(平成26年4月～令和元年10月まで)

4期目の総括

改選後、副議長に就任。三沢市議会では、議会の慣例で副議長は、総務常任委員会のみ所属することとし、他特別委員会及び議会毎に設置される予算審査特別委員会、決算審査特別委員会ははじめ補正予算や条例等の特別員会にも所属せず発言機会が失われ、各委員会の委員長への助言しかできない。また、一般質問もすることができない。そうした中、個別の施策等について市職員へ調査や実施へのアドバイスを行うことは、「副議長職の圧力」と誤解される可能性があるため、積極的に自らのマニフェストへ関わることはできなかった。しかし、各常任委員会及び各特別委員会に、ほぼ全てに出席し、その所管事務調査項目や議案審議に対して委員長や職員へ助言、アドバイス等を行えたことが、今期4年間の活動であり実績である。なお、議会改革特別委員会の設置以降は議長の命で、直接アドバイスいただく機会をいただいたのは、これまで議会基本条例の制定を強く訴えてきた私にとっては、大きな誉れであり、制定されたことは副議長職にあって一番の成果であるとする。

	マニフェスト項目		数値目標・提案条例等	数値結果(令和元年10月まで)	成果内容	自己採点
約束1	若者の雇用・定住を進めます	<p>企業誘致のみならず、Uターン、Iターンを支援すると共に、起業(飲食店等)支援の仕組みを構築します</p> <p>子どもの医療費(15歳まで自己負担なし)の所得制限を緩和します</p>	Uターン及び起業者数20件	<p>新規企業誘致実績1件</p> <p>新規起業実績8件</p>	<p>起業家の件数が少ないものの起業相談数は45件。NPO法人の活動で地元企業と学校のネットワーク会議を十和田地区雇用対策協議会と連携し開催した。</p> <p>平成29年7月1日より、所得制限(234万円)が撤廃された。</p>	60
約束2	地域医療の充実を進めます	<p>市民の健康促進のため、がん検診の受診率を向上させます</p> <p>認知サポーターへ高校生の登用</p> <p>地域包括ケアの充実を図り、医療・介護など地域で支える仕組みを構築します。</p>	<p>各種がん検診受診率</p> <p>平成28年平均20.5%→50%</p>	<p>平均は23.5%</p> <p>(平成28年度から平成30年度)</p> <p>4年間で高校生のサポーターは463人誕生</p>	<p>新たに対象者へ「個別通知」や「健康ポイントの導入」などの事業がスタートしたが、市民の「がん」に対する意識改革の向上へはつながらず。</p> <p>学校側の協力で授業に取り入れていただいた。</p> <p>令和元年12月に地域包括ケアシステムが再構築された。</p>	50
約束3	教育の充実を進めます	<p>学校教育と社会教育を連携させたキャリア教育をさらに進め、「生きる力を育む教育を推進します</p> <p>学校に地域住民、地域企業が関われる「開かれた学校」を作ります</p>	<p>学校支援ボランティアの組織化</p> <p>「生涯学習のまちづくり推進計画」の策定</p>		<p>学校支援地域ボランティアが組織化され年間のべ約14,000人の地域の方々が関わる。</p> <p>「三沢市教育振興基本計画」(令和2年度～6年度)に盛り込むことになった。</p> <p>「あおもりで生きる・働くを学ぶ」上北地区実行委員会の実施するキャリア教育の出前授業が増加している。</p>	70

<p>約束4</p>	<p>地域の活力を進めます</p>	<p>女性の活躍を積極的に支援すると共に、男性の家事・育休を推進します</p> <p>地域での対話の場を作り、地域の課題は地域で解決できる仕組みを構築します</p>	<p>審議会などの女性登用比率 21.5%→30%</p> <p>地域コミュニティ協議会の設置</p>	<p>28.8%</p>	<p>審議会等の女性登用比率は目標値に近い数値まで上昇した。</p> <p>地域コミュニティ協議会は設置できなかったが、NPO法人の活動を通して、ファシリテーション研修会を開催。その影響で市民提案事業で「地域づくりワークショップ」が開催された。また、「高校生とオトナの交流会(ワールドカフェ)」や「第1回三沢市防災フォーラム」を開催した。</p>	<p>70</p>
<p>約束5</p>	<p>議会の見える化を進めます</p>	<p>議会基本条例の制定に向け、さらに議員間討議を活発にします。</p> <p>議会として議会報告会・市民の声を聴く会を開催し、インターネットの活用などぎかいの情報発信を加速化させます</p>	<p>議会基本条例の制定 政治倫理条例の制定</p>		<p>平成30年三沢市議会第1回定例会において、議員提出議案として「三沢市議会基本条例」を全会一致で可決。また、条例の中に倫理に関する条項も盛り込まれた。</p> <p>「市民の声を聴く会」はワールドカフェ方式で計4回開催された。平成29年度から行政視察等の復命書がHPで公開がスタートした。令和2年1月に議会へのタブレット導入を目指し、全議員が参加する研修会(疑似操作)を開催した。</p>	<p>90</p>

マニフェスト以外の取り組み

副議長として4年間、議会運営に取り組むことが出来たことは、今後の政治活動に役立てたいと考えている。また、公務において多くの方々との出会いは私の人生の大きな財産となった。しかし、副議長は一般質問ができないという慣例を取り除くことができなかったことは心残りでもあ